

1液水性ハルスハイリッチアクリルシリコン樹脂つや消し塗料

アレスダイナミックTOPつや消し

系 統 アクリルシリコン樹脂塗料

適用規格 —

ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆

特 長

- 以下の4つの技術により、塗膜の劣化因子であるラジカルの発生を抑制する特徴を持つ。
 - ①「高性能シリコン樹脂」によるUV劣化の抑制
 - ②「UVトランプ」によるUVの吸収
 - ③「ラジカルバリアーコート」による酸化チタンの表面被覆処理
 - ④「HALSラジカルキャッチャー」によるラジカルの補足
- 最上位品フッソに迫る高耐候性を有する。
- 耐汚染性が優れる。
- カビ、藻が付着しにくい。
- 臭気の少ない1液形の水性塗料である。

塗装条件

塗装方法	は け	ローラー			
希 積 率	0～10%	0～10%			
標準所要量 (kg/m ² /回)	0.12～0.14	0.12～0.14			
希 積 剤	上 水				

注) 標準所要量は、個々の条件によって異なります。
標準所要量は、塗装作業に必要な使用量の数値です。

※) 艶消し意匠材の塗替え時の標準所要量は0.20～0.23kg/m²です。

塗装間隔

項 目		温 度	
		23℃	10℃
標準塗装間隔	最 短	2 時間	5時間
	最 長	7 日	7日
使 用 時 限		—	—

塗料性状

項 目	内 容
1 荷 姿	4kg、15kg
2 混 合 比	—
3 色	白及び各色
4 つ や	つや消し
5 仕 上 ぎ 感	平 滑
6 塗 料 比 重	1.45(白)
7 溶 剤 比 重	1.00(上 水)
8 加 熱 残 分	65%(白)
9 劇 物 表 示 (品名・含有量)	—
10 労 安 法 上 の 表 示 有 害 物	—
11 有 機 則 / 特 化 則	—
12 消 防 法 に よ る 危 険 物 区 分	非 危 険 物
13 硬 化 剤 の 成 分 に よ る 区 分	—

主な適用素材

コンクリート、モルタル、スレート板、窯業系サイディングボード、鉄、亜鉛めっき 等

主な適用下塗塗料

エコカチオンシーラー、アレスダイナミックシーラーアクア、アレス水性エポレジン、アレスダイナミックシーラーマイルド、アレスダイナミックプライマー、アレスダイナミックフィラー、アレスダイナミック防水フィラー、アレスダイナミックブラサフ、アレスホルダーHG、弾性ホルダー防水形 等

主な適用中塗塗料

主な適用上塗塗料

使用上の注意事項

- 1) 湿潤面への塗装、アレスダイナミック共通強化剤の適用は出来ません。
- 2) 開缶後よくかきまぜて中身を均一にしてから使用して下さい。
- 3) 性能を発揮する塗膜を形成するのに必要な最低造膜温度があるため、5℃以下の使用は避けて下さい。
- 4) モルタル・コンクリート素地のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケット科学社製(H-2))または5%以下(ケット科学社製HI-500シリーズ:コンクリートレンジ)まで乾燥させた後、適切な下塗りを塗装後に本品を塗装して下さい。
- 5) 塗装後2時間以内(20℃)に降雨が予測される場合は塗装を避けて下さい。高温(40℃以上)および低温(5℃以下)での保存は避けて下さい。
- 6) 塗装用具等の洗浄の際、水で落ちにくい場合はラッカーシンナーを用いて取り除いて下さい。
- 7) 換気の良い場所で取り扱い、容器はその都度密栓して下さい。
- 8) 濃色の場合、塗膜を強く擦ると色落ちすることがありますのでご注意ください。
- 9) 施工部位、被塗物の形状、環境条件により低汚染性が十分発揮されない場合があります。
- 10) 雨掛りの少ない面や結露が生じ易い場合において、塗膜表面に膨れ、白化、艶むら、粘着物が発生するおそれがあります。
- 11) 著しい結露が予想される場合は溶剤系塗料での施工をお勧めします。
- 12) 黄・赤・緑・青系の冴えた色で仕上げる場合は、隠ぺい性を上げるため1層めに共色で塗装して仕上げる事をお勧めします。
- 13) その他、塗料の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細についてはSDS(安全データシート)を参照して下さい。

注) 上記の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。

※本製品説明書の内容には、予告なくして変更することがありますのであらかじめご了承ください。